

2016 年 12 月 15 日

各 位

西武鉄道株式会社

拝島線の踏切遮断不良に関する調査結果について

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、12 月 13 日（火）、拝島線小川第 15 号踏切において、降下していた遮断かんが、電車が通過する前に上昇するという事象が発生しました。（[2016 年 12 月 13 日付の当社ニュースリリース第 16-075 号](#)にて開示しております。）

お客さまにはご心配・ご迷惑をおかけいたしましたことをあらためてお詫び申し上げます。

本件に関する調査結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 発生日時 2016 年 12 月 13 日（火）16 時 58 分頃
2. 発生場所 小川第 15 号踏切（拝島線小川～東大和市駅間・幅員左 5.0m 右 6.0m）
所在地：東京都小平市小川町 1-2536
3. 状 況 16 時 58 分頃、玉川上水発萩山駅行き上り回送電車（4 両編成）担当の運転士が当該踏切の約 100m 手前に差しかかったとき、降下していた遮断かんが上昇しはじめたのを確認、非常ブレーキをかけましたが、同電車は当該踏切を通過し停止しました。なお、歩行者および自動車との接触などはありませんでした。
その後、原因が判明し安全が確認できるまで、同踏切に係員の配置を継続いたしました。同様の事象は発生しておりません。
4. 原 因 前日（12 月 12 日（月））の夜間作業において、当該踏切の制御装置の老朽取替を実施しました。その際に設計図面とは誤った図面を使用し、それに基づき工事を行った結果、4 両編成の電車を検知することができない区間が発生し、その区間を当該電車が通過した際に遮断かんが上昇しました。
なお、当該踏切の制御装置は適正な状態に戻しております。
5. 再発防止策 今回の件を受け、同様の工事を実施している他の踏切について、施工状況の確認を行いました。その結果、同様の事象が発生する可能性のある箇所はありませんでした。
今後、二度とこのような事象が発生しないよう、設計図面の取り扱いに関する業務フローの変更および確認作業の徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

以 上